

## INFORMATION [期間：平成25年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金沢大学十全医学会 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/34847">http://hdl.handle.net/2297/34847</a>

## INFORMATION

【期間：平成25年】

### 第83回日本衛生学会学術総会

第83回日本衛生学会総会は、平成25年3月24日から3月26日の3日間、金沢大学鶴岡・宝町キャンパスと金沢美術工芸大学のキャンパスで両大学の協賛を受けて開催されます。金沢における衛生学会の開催の歴史を振り返りますと、昭和19年に大谷佐重郎先生、昭和45年に石崎有信先生、平成6年に岡田晃先生が会長を務められておられます。19年ぶりに金沢大学で開催することになります。

本学会は、生活・環境・健康管理の現場に根ざし、基礎研究から実学的な研究活動に関する社会医学の推進の母体として大きな役割を果たしてきました。昨年の東日本大震災およびその後の原発事故による放射能汚染という甚大な被害を経験し、改めて環境保健と予防医学を基盤に本学会の役割を確認したいと思っています。その思いを込めて、今総会のメインテーマを、「生を衛る学問の使命—環境と暮らしの再生を目指して—」としました。さらに、前学会で掲げられた「社会医学のグローバル化」についても引き続き追究していきたいと思っております。

第83回日本衛生学会学術総会 会長 城戸 照彦(金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授)

### 北陸実験動物研究会第17回総会・第44回研究会

北陸3県の実験動物研究者、技術者、実験動物取り扱い企業の情報交換の場として、今年も4月20日土曜日の午後より、医学類G棟の講義室で表記研究会を開催した。今回は午後の総会に引き続き、14時より学内公開にて「高等哺乳類を用いた脳機能研究の最先端」をテーマとした2題の講演を行った。始めに、今春、医学系の脳細胞遺伝子学講座に赴任された河崎洋志先生に「フェレットを用いた脳神経系の遺伝学的解析」と題し、高等哺乳類に特徴的な脳回や発達した視覚神経系などの神経構築の分子生物学的解析について、これらの神経構築の未発達なマウスでは解析不可能であるため、フェレットを用いた研究の話題を提供して頂いた。次に基礎生物学研究所の山森哲雄先生からは、「霊長類大脳皮質領野特異的発現遺伝子の発現様式と機能の解析」と題して、領野の良く発達した霊長類の大脳皮質において、代表的領野（一次視覚野、側頭葉、運動野、連合野）で強く発現している遺伝子を網羅的に探索し、一次視覚野と連合野で強く発現する2群の遺伝子を見いだしてその遺伝子機能を解析した成果を紹介して頂いた。

### 金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7-8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。

入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp ホームページ <http://publichealth.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

5月2日(木)

18：00～18：30 中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）

「論文がアクセプトされるための統計学 入門編」

18：30～19：30 金子達雄（北陸先端科学技術大学）

「巨大マイクロ分子『サクラン』の物理化学」

### Inspire a young generation in APSSM

この度、第14回アジア太平洋性機能学会（Asia-Pacific Society for Sexual Medicine, APSSM）学術大会を2013年5月31日から6月2日まで石川県立音楽堂ならびにANAクラウンプラザホテルで開催予定です。テーマは「Inspire a young generation in APSSM」です。APSSMのカバーする地域は広大で、5つの国際性機能学会の支部の中では最も人口が多く、最も面積が広い地域をカバーしています。本学術大会は隔年に開催され、前回第13回学術大会は2011年に台湾の高雄で開催されました。さて、現在性機能に関する研究は非常に盛んになってきましたが、特にアジア・オセアニア地域は学術活動も活発でこの地区が世界のオピニオンリーダーとなっています。性機能は多様な生活習慣や文化などの違いを前提とし、一筋縄でいかない領域ですが、多領域の知的情報共有による共生、和解、多様性が、性機能学研究に求められています。また、今学会はアジア・オセアニアの若い研究者を多く招待し、発表のチャンスを提供し、この地区の性機能領域の発展に貢献できると考えています。

## 日本生理人類学会第68回大会

日本生理人類学会第68回大会を、平成25年6月8日(土)・9日(日)に開催いたします。会場は、金沢大学医学部十全講堂(メイン会場)です。北陸地区で初めての開催となります。本大会では、人類学会関連学会合同シンポジウムを開催いたします。このシンポジウムでは、ヒトの基本姿勢である直立での二足歩行に焦点をあてた「人間の姿勢とロコモーション様式の特徴」をテーマとします。さらに、公募によるシンポジウムを開催いたします。テーマは、「脳活動の活性化」です。この他に、高橋正紘先生をお招きし、「動揺病」(仮題)と題した特別講演を開催いたします。心行くまで討論できるような学会にしたいと考えております。また、古都金沢の文化を満喫していただきたいと思っております。参加者の皆様の協力によって充実した研究発表の場に行きたいと思っております。多くの方の参加をお待ちしております。

## 金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7-8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。

入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp ホームページ <http://publichealth.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

6月13日(木)

18：00～18：30 中村裕之(金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授)

「論文がアクセプトされるための統計学 入門編」

18：30～19：30 小林孝之(金沢大学大学院自然科学研究科 特任教授・アニマルクリニックこばやし 院長)

「獣医師が直面する公衆衛生的問題と私の動物臨床」

## 第4回 Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース

このたび、アメリカ合衆国(USA)における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support (BDLS)プロバイダーコースを昨年に引き続き金沢で開催します。BDLSはBLS、BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり、アメリカ医師会(AMA)が運営するコースです。東日本大震災を経験し、災害に関する知識をもっと深めようと思われる方には最適なコースと思います。講義、スライドは全て日本語で行ない、内容はUSAそのままで開催します。

日 時：7月7日(日) 8：00～17：30

場 所：金沢大学医学部教育棟 1F 第二講義室

対象者：救急隊、看護師、医師等の医療従事者 150名程度

参加費：12,000円(テキスト代、登録料含む)

講義内容：8時間の講義、筆記試験(全て日本語です。)

なお、受講修了後日、AMAより受講修了書が発行されます。

不明な点がありましたら、金沢大学附属病院 集中治療部 谷口 巧

E-mail: [icu.jimu@gmail.com](mailto:icu.jimu@gmail.com)(集中治療部秘書 吉本) TEL：076-265-2826 もしくは 076-265-2000(内線7744)まで

## 医療薬学フォーラム2013/第21回クリニカルファーマシーシンポジウム

メインテーマ：薬の専門家としての薬剤師の立ち位置を考える

日 時：7月20日(土)～21日(日)

会 場：石川県立音楽堂/ANAクラウンプラザホテル金沢(JR金沢駅前)

主 催：日本薬学会医療薬科学部会

共 催：日本病院薬剤師会、日本薬剤師会

後 援：石川県、金沢市、金沢大学十全医学会

特別講演：「Pharmacists, Now and in the Future」(アメリカ薬剤師会 次期会長) Matthew C. Osterhaus

教育講演：「薬学教育と薬剤師教育」(文科省高等教育局医学教育課長) 村田善則

シンポジウム：「アメリカのClinical Pharmacistと日本の臨床薬剤師」、「TDMにおける薬剤師の立ち位置とは」、「薬剤師外来：医薬連携の実践～薬剤師から始める共同薬物治療管理～」など、14のシンポジウム、ワークショップ、一般演題(ポスター)が2日間にかけて開催されます。

問合せ・参加申込先：<http://web.apollon.nta.co.jp/cps2013/>